

ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム  
平成 30 年度第二回企画運営委員会議事概要

【日時】 2018 年 6 月 7 日（木）12 時 00 分から 12 時 30 分

【場所】 情報科学 C 棟 401 室

【出席（敬称略）】 清水（委員長・情）、尾上（情）、藤原（情）、谷田（情）、若宮（情）  
松下（情）、原（情）、難波（生）、細田一（情）、中野（生）、EUM（情）、津田（情）  
楊（情）、マハズーン（基）

【遠隔参加】 細田耕（基）、

【事務局】 森川（情/事務長）、鐘ヶ江（情/大学院係長）、徳野（情/部門事務局長）  
谷川（情/部門事務）、嘉村（情/部門事務）、上田（情/部門事務）、

【欠席（敬称略）】 井上（情）、村田（情）、増澤（情）、平岡（生）、大澤（生）、八木健（生）  
柳田（生）、藤田（生）、近藤（生）、石黒（基）、松岡（サイバー）

### 配布資料

HWIP ホームページ教員用ページにアップします。（パスワード：HWinnovation）

### 議題

#### (1) 教務委員会（資料あり）

- 今年度の教務活動についての進捗報告があった。4 月 13-15 日で新入生を主とした合宿を実施(HW セミナー科目)。今年は新たな試みとして他大学、他リーディングの学生や教員を招へいし、数名の参加があった。また、修了した一期生の一人を講師とし、セミナーを開催した。
- 教務と紐づけて進めている学生融合研究が、国際誌論文に掲載された旨報告があった。
- 今年度の学生アドバイザリ委員会の構成を確定した旨報告があった。8 月頃メンタリング、11 月頃評価を実施する。最終試験(公聴会)の日程についても調整していく予定。
- 学振特別研究員採用へのサポートの取り組みを開始した(津田特任准教授)。HP を活用してアドバイスや申請書の個別添削等を実施している。

#### (2) リーディング大学院選抜委員会（資料なし）

- 報告事項なし

#### (3) 海外連携委員会（資料あり）

- 今期の履修生に対する海外短期渡航支援について、予算の目途がたったため条件を見直して再開する旨が条件とともに報告された。(旅費上限 30 万円、学会の場合

は発表必須とする。基本一人1回)

- 海外短期渡航支援の派遣状況の報告があった。
- 7/10～12 (3日間)の予定で毎年実施しているシドニー大学講師による「Young Readers Workshop」を開催予定で、履修生5-7名が参加予定である旨報告があった。
- インターンシップ履修説明会を4/27に国内インターンシップ(産学連携委員会所掌)と併せて対象者に実施した。
- 毎年、年2回実施している渡航前オリエンテーションおよび危機管理説明会の今期1回目を5/18に実施済(8名が参加、次回は9月頃予定)。今後の方針として、直近のこの機会に参加できなかった学生について、過去1年以内に同説明会に参加していれば、最新の資料を渡し、再度熟読することでよいこととした。(異論なし)
- 国内海外インターンシップの実施状況について、産学連携委員会と共通事項として報告があった。

#### (4) 産学官連携委員会 (資料あり)

- 3年次講義である「イノベーション実践演習」についての進捗報告があった。第1クール(特許庁2日間)を実施済み。第2クール(Panasonic 3日間)を実施中。今後の第3クール(NEC 2or3日間)を日程調整中。
- インターンシップ関係では、(海連報告と同じく)履修ガイダンスを実施済。企業インターンシップ募集説明会を7月上旬に開催予定。

#### (5) 広報企画委員会 (資料なし)

- マッチングイベントについて検討中。また、活動報告的な資料(冊子、本)を作成するか、作成するならどのような内容にするかも検討中。

#### (6) その他

- 事後評価調書について(清水教授 資料あり)  
文部科学省からの支援期間終了後もプログラムを継続するようにとの強い要請のもとに作成しているが、ヒアリングまでには詳細を詰めた旨の発言があった。
- 事業の発展・定着WGの設置について(清水教授 資料なし)  
文部科学省から事業の発展・定着の要請があり、大学も支援の方針を決定している。それを受けて、WGを設置して教務、選抜、海外連携、産学官連携、広報等について各研究科や企業等との協力の内容や方法を検討したい旨の発言があった。  
併せて、3研究科からの構成員について発表があった。
- 参画企業との連絡協議会について(6/21)(清水教授 資料なし)  
参画いただいている企業等には、既に来年度以降の協力をお願いしている。

そのうえで連絡協議会を開催して、企業等はどのように思っているか、企業のメリットは何か等話し合いたい旨の発言があった。

- 予算について（清水教授・資料なし）

第1回本委員会(4月)で今期の予算状況について報告したが、その後に調整を進めて、各研究科からの援助と本部からの補助により、4月に停止していた学生支援の一部を再開した旨の発言があった。

次回：7月 5日(木) 12:00-13:00 情報科学研究科 C棟 4階 C401